

産地改革チャレンジ事業（食と農のチャレンジ事業） 優良事例紹介

◆ 平成28年度事業実施

JA常陸大宮地区なす部会 （常陸大宮市・大子町）

取組概要

炭酸ガス施用機の導入による収量向上の取組み

◆ 取組区分 生産振興 担い手の確保・定着

事業実施前

奥久慈なすは、県北地域における収益の高い品目の一つであり、平成28年3月に県北地域初となる県青果物銘柄産地に指定されました。

取引市場からはこれまで以上に安定した品質によるロットの増加と長期間の出荷体制が望まれています。施設促成ナスでは、厳寒期12～2月の収量品質が低下するため、冬期の収量確保対策が課題となっていました。



促成ナスハウス外観



ハウス内促成ナスほ場

取組の内容

冬期の肥大促進及び形状安定による促成ナスの収量向上を図るために、炭酸ガス施用機及び測定器を導入しました。

外部専門家によるハウス内環境制御技術の研修会や二酸化炭素施用及び加温機メンテナンスについての現地講習会を開催しました。

更に、担い手確保対策や収量向上対策について先進地視察研修を行いました。



促成ナスハウスほ場への炭酸ガス施用機、測定器の導入



事業費補助を活用した経費

- ・炭酸ガス施用機、測定器の導入
- ・栃木県への先進地視察研修費
- ・外部専門家（ハウス内環境制御）派遣経費

取組の成果

炭酸ガス施用により、促成ナス収量は前年比128%、農業所得は前年比133%となり、取組により収量増加、農業所得の向上が図られました（10月から3月の集計値）。

また、研修会等により産地に新たな技術導入が図られました。



ハウス内促成ナス



現地講習会

今後について

炭酸ガス施用により、出荷量が増加する一方、樹勢が旺盛になりすぎて品質低下につながってしまったため、樹勢のバランスに合わせた肥培管理が課題となっています。

そのため、環境測定と生育調査等の結果に基づき、適正な樹勢管理を目指していきたいと考えています。

今回の導入をきっかけに、更に内張等の改善により暖房費の縮減、収穫量の増加を図る取組につながりました。

今後は、銘柄産地を更にPRしていくため、のぼりや横断幕、パンフレット等販促資材を作成したいと考えています。

引き続き、関係機関と連携し、産地の維持、発展のために新規栽培者の確保、育成を行っていきます。



新規栽培者募集チラシ